

もっとちかくに ずっとそばに

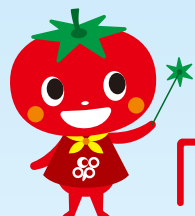
サステナビリティ レポート

2026



私たちのめざすもの

いずみ市民生協グループの理念



いずみ市民生協グループは
「くらしに笑顔」をお届けします。

そのために

1

組合員と
地域社会の要望を、
事業を通じて
実現します。

2

平和で持続可能な
社会の実現の
ために
行動します。

3

安心して暮らせる
地域社会づくりに
参画します。

4

組合員の多様な
活動を支援
します。

2030年ビジョン

もっとちかくに ずっとそばに
～コープは、つながる力で笑顔を広げます。～

つながる力とは、人々がつながり・助け合う「協同の力」です。

いずみ市民生協は、地球にくらす人・生き物すべての笑顔のために、

組合員、職員、地域の方、自治体、NPO、生産者、事業者など

多様な個人と団体とのつながる力をさらに広げ・強めます。

いずみ市民生協グループの
理念・ビジョン
詳しくはコチラ





目次

CONTENTS

私たちのめざすもの	01
ごあいさつ	03
生協ってなんだろう?	04
事業と活動	
事業と組合員活動	05
サステナビリティの取り組み	07
サステナのあゆみ	09
データでみる取り組み	11
事業を通じたお役立ち	
エシカル消費	13
産直とは	15
産直産地	17
食の安全	19
地球環境を守る	
脱炭素社会の実現	21
循環型社会の実現	23
まちづくりへの参加	
お買物支援	25
とまとちゃん福祉基金	27
子育て支援	29
地域・行政と連携した取り組み	31
人権・平和	
戦後80年	33
職場づくり	
1人ひとりの輝きが、 地域の明日をつくる。	35
まとめ	
社会的責任懇談会	37
ふりかえりクイズ	38

サステナビリティ レポート2026

いずみ市民生協グループの理念・2030年ビジョンに基づく「サステナビリティ基本方針」に掲げる課題の到達点などを中心に報告します。

- 対象組織:
いずみ市民生協の活動を中心に、グループ会社を含めて紹介しています。
- 対象期間:
2025年4月から2026年3月までの活動を中心に記載しています。
- 主な読者:
組合員、地域住民、行政、生産者、取引先、職員・社員、次世代

もっとちかくに ずっとそばに

2026年6月16日
大阪いずみ市民生活協同組合
専務理事

久保 幸雄



私たちは今、地球規模でかつてない変革期に直面しており、持続可能な社会の実現は喫緊の課題です。

2025年、世界の平均気温が産業革命前より1.47度上昇し、このままではパリ協定の抑制目標である1.5度を超える上昇見込みとなるなど、気候変動は一層深刻化を増しています。これに伴う異常気象や大規模災害の頻発は、国際社会全体に早急な対応を求めています。

他方で、自国の利害を最優先し、国際規範に反する事例が散見されています。国際協調の理念が揺らぎ、世界各地での紛争が絶えず、終息が見通せません。

さらに、こうした紛争や地政学的緊張は原油価格の高騰やインフレを招き、数年にわたって多くの商品の値上げが続いており、人々の暮らしを圧迫しています。

このような社会課題に直面する中、いずみ市民生協では「電気由来のCO₂排出ゼロの施設」への転換や再生可能エネルギー発電所の開発など、CO₂排出ゼロの実現に向けた取り組みを推進してまいりました。

また、2025年が戦後80年という節目を機に、組合員参加による平和の取り組みを一層強化し、生協が掲げる「平和とより良い世界の実現」への決意を新たにしています。

さらに、「安心してらせる・つながりのあるまちづくり」に生協も積極的に参加していく方針のもと、大阪府下の諸団体とともに新たに設立した「(公社)なにわフードバ

シク「しっかり食べや」の活動支援や、長年にわたり取り組んでいる「とまとちゃん福祉基金」による活動の幅を広げてまいります。

協同組合の揺るぎない原点である「人や地域のつながり」は、2025年の国際協同組合年において改めてその価値が確認されました。この原点を、いかに創意工夫をもって最大限に活かしていくのか。これこそが、私たちに託された重要な使命であると捉えております。

私たちは2030年ビジョンとして、「もっとちかくに ずっとそばに ～コープは、つながる力で笑顔を広げます。～」を掲げています。SDGsの達成期限が迫る中、今求められているのは「消費者一人ひとりの意識改革と具体的な行動」です。「助け合い」と「連帯」を基盤とする消費者の組織として、私たちにはこれまで以上の責任と行動が求められています。地域の課題解決に取り組むことはもとより、明るい未来へ向けた新たな価値創造にも挑戦していかなければなりません。これからも、持続可能な社会への架け橋として役割を果たすべく、努力を惜しまず歩み続けてまいります。

今後とも、みなさまの忌憚のないご意見と、引き続きのご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



いずみ市民生協の事業と組合員活動

事業で得た利益は、
組合員や
社会に役立つこと、
組合員の活動に
活用しています。



●事業

コープの宅配

ご注文いただいた食品・日用品・衣料品・チケットなどを週に一度、ご自宅までお届けしています。暮らしに役立つ、約4,800品目以上のラインナップです。



コープのお店

「おいしさ・楽しさ、感動、健康」をコンセプトに、「毎日豊かで楽しい食生活」を提案するお店をめざしています。



コープの夕食宅配

月～金曜日のお好きな曜日に週3日からご利用いただける、お弁当の宅配サービスです。
管理栄養士が監修した豊富なメニューが、幅広い年代の方々に喜ばれています。



コープのネットスーパー

最短で当日お届けのサービスです。
宅配では間に合わない食品の買い足しや、忙しくてお店へ行けないときのお買い物にお役立ていただいています（配送エリア拡大中）。



CO・OP共済／保障

全国の組合員が力を寄せ合い、大きな保障を実現しています。現在、4店舗に「コープの保険相談（窓口）」があり、共同購入センターにはコープ共済の専任スタッフを配置しています。



コープの介護・看護

「医療や介護が必要になっても、できるだけ長く住み慣れた地域で暮らし続けること」を理念に、在宅でも施設でも安心して「自分らしい生活」が続けられるよう、サービス提供しています。



●組合員活動 多様な人々がさまざまな形で参加できる活動をめざし、組合員活動の豊かな広がりに参加の充実をすすめています。

コープ委員会・エリア委員会

コープ委員は年間を通して随時募集しています。コープ商品を中心に、地域みんなの「要望や願い」をもとにしたイベントや学習会を企画・準備し、実施後にはふりかえりを行っています。

「コープ委員会」は行政区を基盤にして活動をすすめており、「エリア委員会」はより広域エリアで活動をすすめています。組合員が主体的に意思決定・運営できることを大切にしています。



▲生協大会で掲示した平和の取り組みをまとめた模造紙



▲親子で防災学習会



▲親子でクリスマスカードづくり



▲コープ商品でつくるランチ会



▲ナリス化粧品学習会(メーカーを囲むつどいの1つ)

コープママ

子育て中の組合員が無理なく活動に参加できるよう、生後3か月～未就学のお子さまを無料でコープママがお預かりする制度を設けています。「子どものお世話」が「あり」のイベントに限り、利用できます。コープママは子育て経験のある組合員によるボランティアで成り立っており、とても大切な組合員活動の1つです。



その他の委員会活動

「**組合員活動委員会**」は総代会の決定に沿い、地域の組合員活動が活発に広がっていくように環境整備や方針案を検討しています。

「**産直委員会**」や「**とまとちゃん福祉基金委員会**」、「**コープ商品ファンづくり委員会**」などの理事会の諮問機関は、組合員も参加しての開催とすることで、生協の運営に組合員の願いが反映されるよう、工夫しています。

コープクラブ・コープクラブPLUS

福祉、環境、子育て支援、くらし・まちづくり、平和、食育、防災、の7つのテーマで、自主的に活動しているグループを支援する制度です。上限2万円(PLUSは6万円)までの実費支給や施設の無料提供などにより、よりよい地域社会づくりを応援しています。

“誰もが笑顔でくらすことができる持続可能な社会”の



- 消費者・地域社会の声を生かした商品・サービスの提供
- 食品安全の取り組み
- エシカルな商品の開発と普及
- 消費者の権利保護

- 子育て支援、食育
- 生活困窮、子どもの貧困対応
- 行政と連携した取り組み
- 地域団体の支援
- 学習・イベント活動



組合員活動の豊かな広がりとお役立ちの充実

- より多くの組合員が主体的に参加できる「活動のあり方」の確立と充実
- 多様な人々がさまざまな形で参加できる企画と工夫
- コープ委員会やまちづくり活動の中で、活動の担い手づくりと育成

いかなる取引も対等な立場で公正に実施

- お取引先を対象とした公益通報窓口の設置
- 「ホワイト物流」運動の推進
- 組合員と生産者の交流を推進

誰もが健康でいきいきと働き続けられる職場づくり

- 生協の理念・ビジョンの学習
- 労働災害・ハラスメント防止の取り組み
- 多様な人材が活躍できる職場づくり
- ワークライフバランスの推進
- 職員・社員の成長を促す研修制度

透明で健全な強い事業経営の構築

- 組合員参加を広げ、組合員の総意が適切に反映される運営
- 事業リスクを適切に管理し、効率的で健全かつ迅速な経営判断・意思決定
- 積極的な情報開示と双方向コミュニケーションを推進する、透明性の高い運営

組合員、職員、地域の方、自治体、NPO、生産者、事業者など多様な個人と団体とのつながる力をどんどん広げ、強めながら、課題解決に向けて行動しているよ。



実現のため、つながる力で取り組みをすすめています。



- 再生可能エネルギーの開発・利用
- 省エネの取り組み
- 食品廃棄物削減の取り組み
- プラスチック削減の取り組み
- 宅配の商品案内の紙削減
- リサイクル
- 学習・イベント活動

- 戦争体験の語り継ぎ
- 署名活動
- 高校生沖縄特派員の取り組み
- カスタマーハラスメントへの対応



おしえて!とまとちゃん

サステナビリティってなに?



そもそも…サステナビリティってなんだったっけ?

サステナビリティとは、「**持続可能性**」を意味する言葉だよ。
簡単に説明すると、環境や社会・経済が、**未来までずっと続いていけるように配慮すること**なんだよ。
たとえば、「資源を無駄にしない」「みんなが安心してくらせるまちづくりに参加する」など、**サステナブルな活動はみんなの生活にとって、とても身近で大切なもの**なんだ。



いずみ市民生協グループは、そんな「ずっと続いていける社会」を意識した事業や活動をすすめているんだね。

どうやってサステナビリティを推進しているの?



いろいろな事業や活動がある中で、どうやってサステナビリティをすすめているの?

サステナビリティを推進する部署があって、そこでこのレポートを作成したり、情報を開示したりしているんだ。
また、宅配や店舗など、サステナビリティの取り組みを行う部署に対しては情報提供はもちろん、**取り組みがスムーズにいくように調整**をしているよ。
環境や人権など、生協全体の取り組みについては関係する部署を集めて、**目標や活動内容**について話し合いをしているよ。



いずみ市民生協グループ

サステナのあゆみ



1974

いずみ市民生協 創立

1974

マルレイ農協と産直を開始

1979

「私の戦争体験」
(第1集)を発行

貴重な体験談の寄稿
をもとに制作。
組合員に配布し、平和
の大切さを伝承



1991

牛乳パックのリサイクル開始
(リサイクルがスタート)

2018

「エシカルな商品」に
独自のマーク表記を開始

エシカルな商品の取り扱い
品目は前年比128.7%に



2018

フードドライブを開始

まずは、堺市と和泉市の2店舗で実施

2017

「とまとちゃん福祉基金」を
創設

2017

社会的責任基本方針
(現サステナビリティ基本方針)を
策定

2019

(株)いずみエコロジーファームが
「ノウフクJAS認証」を取得

大阪府では初。全国で5事業者目となる



2019

「私の戦争体験」のアーカイブを
ホームページに作成

これまでに発行した「私の戦争体験」が
Webでも閲覧可能に

2024

おおさか気候変動対策賞
特別賞(脱炭素化ランク:ゴールド)を
受賞

温室効果ガス排出量を基準年度比
50%以上削減したことが評価される



2024

「カスタマーハラスメントに
対する基本方針」を策定

2024

取引先を対象とした
「人権に関するアンケート」を開始

あわせて、取引先を対象に「人権学習会」も開催

2025

いずみ市民生協の
太陽光発電所数が、19か所に

2019年からは大型発電所だけではなく、
共同購入センターや店舗の屋根
に設置をすすめ、大きく広がる



私たちは、2017年に「SDGsに対する基本方針」を策定し、SDGsの17の目標（ゴール）の中でも「エシカル消費・CO₂削減・平和の推進」の3つを優先課題に設定して、さまざまなことに取り組んできました。本ページでは、これら3つの課題を中心に、その歴史をご紹介します。



2000

エコレポート
(現サステナビリティレポート)
発行開始

2009

食品安全プログラムを
策定・運用

2011

食品リサイクル・ループが
行政から認可される

2012

テクノステージ物流センターと
あゆみ野物流センターに、太陽光発電所を開設

合計2.3メガワットの太陽光発電パネルを設置

2016

「おおさかストップ温暖化賞」の
大阪府知事賞を受賞

2016

7.5メガワット規模の
「京都・亀岡太陽光発電所」が
始動

ゴルフ場の跡地を活用して8月より
稼働



2014

「久米島美ら海環境基金」を創設

積み立てた基金は、赤土が海に流入する
ことを防ぐベチパー(イネ科)の植え付
けなどに使用

2020

「再エネ100宣言 RE Action」に参加

使用電力を再生可能エネルギー100%に
転換する意思と行動を宣言

2021

営業車両としてEV車
(電気自動車)を5台導入



2021

「いずみ市民生協グループの人権方針」を策定

2023

「子ども服リユース
るんるん〜ぶ」を開始

(株)ハートコープ
いずみによる家
計応援・環境負荷
低減のとりくみ



2021

商品カタログ類をまったく配布しない
「完全未配布」を開始

組合員が「不要」と登録することで、配布なしの
選択が可能に

2021

いずみ市民生協の施設を
「電気由来のCO₂排出ゼロの施設」に
転換開始

まずは、コープ岸和田店と大野芝店の2施設
にて排出ゼロが実現

2025

商品カタログ類の
「完全未配布組合員数」が
全体の10%を超える

5月以降、宅配組合員比で10%
を突破

2025

「電気由来のCO₂排出ゼロの施設」への
転換が進む

11月、いずみ市民生協の14施設で転換が完了。
全体の電気使用量の68.1%が電気由来の
CO₂排出ゼロに







2025年度の
取り組みは、
次のページから
たっぷり紹介！




いずみ市民生協グループ データでみる2025年度の取り組み

事業を通じたお役立ち

主な事業

 宅配事業 16 共同購入センター 供給高: 669.8億円	 店舗事業 12 店舗 供給高: 299.2億円
 高齢者福祉事業 9 種類の事業 17 の事業所	 サービス事業 供給高: 15.0億円 (カタログ・通販・チケットなど)
 保障事業 CO・OP共済と 保険の保有件数 292,777件 CO・OP共済金のお支払い 22.3億円	 コープの夕食宅配 平均食数1日当たり 10,423食

食の安全



商品検査センター
検査数 25,773件

エシカルな商品





エシカルな商品の普及
6,568.2万点

いずみ市民生協アプリ



いずみ市民生協アプリ
38.3万ダウンロード

産直


 産直産地 105産地189品目	 産直商品の普及 2,131.7万点
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地球環境を守る

CO₂の削減

 CO₂排出量 9,308トン (基準年2019年度比45.4%)	 電気由来のCO₂排出ゼロの施設 14か所 (3物流センター、11店舗)	 太陽光発電所 太陽光発電所: 19か所	 太陽光発電量 1,661万kWh (5,014世帯の年間電気使用量に該当)
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

食品廃棄物の削減

 食品廃棄量 728.3トン (基準年2018年度比34.4%削減)	 食品リサイクル率 55.2% (基準年2018年度比54.5%増加)
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

紙の使用量削減



宅配の「商品カタログ完全未配布登録」人数
31,941人(前年比129.9%)

プラスチック使用量削減



店舗の容器包材
80アイテムの容器包材を
リサイクル原料を使用したものへ切り替え

組員協力リサイクル

 宅配でのリサイクル 5種類で4,705.2トン回収	 店舗でのリサイクル 4種類で86.7トン回収
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

まちづくりへの参加

お買物支援



コープのらくらくショッピングカー

コープのお店に無料で送迎するサービスを8店舗で実施
ご利用者:49,370人



コープのお買物便(移動販売車)

17市町村297停留所を巡回
ご利用者:80,218人

子育て支援



はじまるばこ

申込数:10,997箱
新生児のいるご家庭に無料で提供



子育てひろば(5市から委託や補助を受けて運営)

8会場でのべ11,179家族が利用



コープのえほんでスマイル

のべ13,103世帯と
1,459施設に無償で絵本をお届け
112施設の7,603人の
子どもに絵本のキャラバン隊を派遣



コープ・ラボ

たべる*たいせつミュージアム

年間来館者数:41,344人
小学校の利用
見学:42校2,673人
出張授業:140校8,547人

募金・基金



令和6年能登半島地震・奥能登豪雨 緊急支援募金

日本生協連への寄付額:3,000,000円



ユニセフ募金

金額:2,039,968円



緑の募金

金額:208,756円



とまとちゃん福祉基金

金額:27,134,667円



マルイ元気たまご応援基金

金額:1,188,447円



久米島美ら海環境基金

金額:846,807円

人権・平和

人権デューデリジェンスの推進



職員・社員の人権学習

学習資料を全職員・社員に配布し
学習を推進



取引先を対象とした人権アンケートの実施

152社が回答



障がい者雇用率

6.47%

平和



平和署名

核兵器禁止条約に署名・批准を求める署名
4,862筆(累計)



戦争体験の次世代への継承

「私の戦争体験 第47集」を発行



高校生“沖縄特派員”新聞

8人の高校生が取材し、vol.7を発行



事業を通じたお役立ち

“いつものお買い物”で 持続可能な社会に貢献。



いずみ市民生協は「エシカル消費」を広げるため、
環境、地域、社会、人々に配慮した商品の普及と
開発をすすめています。

これからも、より多くの方に

「エシカルな視点をプラス」していただくことで、

「みんなの笑顔につながるお買い物」を広げていきます。

エシカルな商品の普及実績

合計**6,568万点** (前年比99.3%)

エシカルな商品の供給金額が
供給高全体に占める割合 **27.1%**

宅配と店舗の総供給金額 969.0億円
エシカルな商品の供給金額 262.1億円

*エシカルな商品として区分する下記と右記の4つは、重複してカウントしている
商品がありますが、合計の数値には重複はありません。

*前年の供給点数は、2025年度の対象商品に合わせてカウントしなおしています。

国産のものや地域のもを食べることは日本の生産者の支援につながる!



地域に配慮した 商品

4,048.3万点

(前年比95.1%)

フェアトレードや、子どもたちの学校給食支援(レッドカップキャンペーン)、
アンゴラの学校づくり(スマイルスクールプロジェクト)の支援などにつながる!



社会に配慮した 商品

192.8万点

(前年比113.3%)

ピンクリボン運動(乳がんに対する啓発および患者や家族の支援)などにつながる!



人々に配慮した 商品

4.8万点

(前年比89.9%)



「環境への配慮」を大切にする“コープさんシリーズ”、広がっています

2024年7月から販売が開始された、いずみ市民生協オリジナルの“コープさんシリーズ”。商品の開発から包材に
至るまで、環境への配慮を大切にしています。

これからも、地球環境に配慮した素材や再生利用が可能な包材を積極的に取り入れた商品提供をめざします。

2025年8月にデビュー /



▲コープさんの
寒さわら旨み醤油糍漬



▲コープさんの
国産ポークロングウィンナー
(無塩せき)

2026年 3月末時点 **10** 品目 デビュー以降の 総売上点数 **約146** 万点

環境に配慮した商品 3,291.0万点 (前年比102.4%)

環境に配慮した商品の中には、**認証マーク付きのもの**や**寄付に参加できるもの**、**食品リサイクル農産物**などがあります。

<p>エコマーク</p> <p>供給点数 368.9万点</p>  <p>環境負荷が 少ない</p>	<p>FSC®</p> <p>供給点数 1,058.7万点</p>  <p>森を守ることに つながる</p>	<p>MSC</p> <p>供給点数 62.1万点</p>  <p>海を守ることに つながる</p>
<p>ASC</p> <p>供給点数 1.4万点</p>  <p>エシカルな 養殖場で 育てられた</p>	<p>マリン・エコラベル・ ジャパン</p> <p>供給点数 63.7万点</p>  <p>海と資源を 守ることに つながる</p>	<p>オーガニック (有機栽培)</p> <p>供給点数 69.5万点</p>  <p>農薬や 化学肥料を ほぼ使用せず</p>
<p>特別栽培農産物</p> <p>供給点数 139.0万点</p>  <p>農薬や 化学肥料が 少ない</p>	<p>レインフォレスト・ アライアンス</p> <p>供給点数 29.9万点</p>  <p>より良い未来を 推進する方法で 栽培された</p>	<p>洗剤環境寄付 キャンペーン</p> <p>供給点数 11.7万点</p>  <p>小規模 パーム農家を 支援する</p>
<p>RSPO</p> <p>供給点数 154.4万点</p>  <p>エシカルな パーム油で 作られた</p>	<p>食品リサイクル 農産物</p> <p>供給点数 83.1万点</p>  <p>食品廃棄物 削減につながる</p>	<p>たくさんの人がエシカルな価値を求めれば、 世の中をもっと“地球や人にやさしい商品で いっぱい”にできるね♪</p> 

*掲載している商品は取扱商品の一例です。

エシカル消費を推進するために、イベントやキャンペーンを行っています。

店舗では、2025年度も6月を環境月間とし、右記の「エシカル」施策を行いました。



「お家で楽しもう! エシカルビンゴ」を配布し、商品理解と参加を促進



対象のエシカル商品を購入した方へ、ポイントのプレゼント



生産者と消費者がともに支え合う、 コープの産直。



産地と食卓をつなぎ、支え合っていくために、大切にしていること



▲産地を訪ねる旅プラン
(北海道コース)のようす



▲年1回開催を恒例とする
「産直産地交流会」

お互いの声が届く!

組合員との交流を大切にする顔
の見える産地。

自然への愛にあふれている

自然環境や生き物、人を大切に
する持続可能な社会をめざして
いる産地。



▲「久米島美ら海環境基金」海岸清掃のようす

安心の品質管理

いずみ市民生協・わかやま市民
生協の品質保証の仕組みに対応
できる産地。



▲組合員が産地を訪問する「点検補助員制度」

日本の農業は異常気象や農業人口減少などの課題に直面しています。 そのような課題に対しても、さまざまな取り組みを行っています。

生産者との
パートナーシップで、
**気候問題を
共有**

組合員と
生産者をつなぎ
**気候変動
リスクの理解を
深める**

産地分散により
リスクを分散し、
**供給安定を
はかる**

気候変動対策や
持続可能な生産で
**農業のリスクに
備える**

「コープの産直」は今後も継続的な取り組みを通じて、
産地と食卓の双方を支えていきます。

日本の農業の課題

異常気象 農業人口減少

季節外れの高温
集中豪雨・台風など

高齢化と後継者不足
少子化など



こうした課題に直面する中でも、食卓へ質の高い食品をお届けするため、生産者はさまざまな工夫と努力を重ねています。

産直産地

Real Voice

宮城県 JAみやぎ仙南

角田市ふるさと安心米生産組合協議会 只野 実 様

主な生産物:

特別栽培米 宮城ひとめぼれ、特別栽培米 宮城つや姫

30年以上前から、健康な土づくりと農業を減らすことがモットー。お米は大粒でハリがあり、香り・光沢・粘りの良い自信作!



作業の根本的な見直しやデジタル活用で農業課題に向き合っています

安全・安心で美味しいお米を安定供給できるよう、さまざまな工夫や改善を行っています。

人手不足への対策

- ドローンの活用で複数の作業を省力化
- トラクター・田植え機への自動操舵システムの導入やGPSモニター導入により、ムリ・ムラ・ムダを削減
- 作業進捗の「見える化」→段取りの明確化
- 品種数を絞り、作業効率向上と品質を安定

異常気象への対応

近年の温暖化の影響で水温が上昇し、肥料成分が早く溶出してしまい、稲が本当に必要とするタイミングで効かないなど、土壌の養分が活かしきれないケースが増加。

- 基本に立ち返り、土づくりを重視した取り組みを推進。化成肥料に過度に依存しない田んぼづくりをめざしています。

重労働への対策

数ある農作業の中でも特に重労働である「草刈り」が、異常気象による暑さでさらに過酷な作業になっています。

- 畔を一度に幅広く刈れる機械の導入・軽量バッテリー式刈払い機の活用→省力化・労働負荷改善

このように、厳しい環境下でも持続可能な農業を続けるため、技術の導入と基本に忠実な土づくりの両立を意識しながら、日々試行錯誤を続けています。

北海道 小清水産直センター

農事組合法人 小清水産直センター 坂本 清一 様

主な生産物:たまねぎ、じゃがいも

農業の使用を抑え、実直に誠実に農作物を作り続けています。



柔軟な産地運営や消費者参加型の発想で次世代にも持続可能な農業に取り組んでいます

北海道の厳しい気候の中でも、美味しい農産物を安定供給できるよう、さまざまな対策や次世代への継承などを積極的に行っています。

人手不足・後継者問題への対策

- 新規就農者(移住者)に農地・農機具を継承、資金・技術支援
- 血縁に限定しない後継者確保の考え方へ転換

異常気象・経営リスクへの対応

- かん水設備の整備による高温・干ばつ対策
- 将来の気象変化を想定した品種の試作
- 栽培技術・資材の見直しと試験導入

作業負担・収穫後工程の省力化

人参、たまねぎ、じゃがいものように、作業工程が多く収穫後も選果といった熟練の作業のいる工程の省力化に取り組んでいます。

- 収穫作業のセンター側による請負
- 選果～出荷までを担う別会社設立の試み
- AI・ロボットによる自動選果システムの導入
- 生協組合員参加型の遠隔選別構想

こうした課題と対策のほかにも、近年の燃料や肥料の高騰といった問題をはじめ、さまざまな困りごとにとつずつ向き合っています。



全国各地に広がる “顔の見える”関係づくり。



産直産地 105産地 189品目

※重複またはまとめてカウントしている産地・産直品があります。

島根県 イトハラ水産

主な生産物:しじみ屋さんの冷凍しじみ



日本海の海水と中国山脈のミネラル豊富な淡水が混じる宍道湖で水揚げされた大和しじみを買付け。特許技術や独自製法で、後世に繋がる美味しいしじみ作りを頑張っております。

長野県 ハーツ

主な生産物:越裕之さんのほぐしめじ



便利なだけじゃないおいしさの秘密は、栽培期間が長く温度管理も難しいこだわりの種菌にあります。ASIAGAP認証を取得し、栽培から流通まで一貫して高品質な商品を届けています。

鹿児島県 マルイ農協

主な生産物:
産直たまご、マルイ元気鶏



ひなの生産、飼料の製造から鶏卵・鶏肉の販売まで、すべてを手がける養鶏専門農協です。環境保全型エコロジー産業に取り組み、安全・安心なたまご・鶏肉をお届けします。

三重県 大里畜産

主な生産物:伊勢うまいネ豚



麦類、飼料米をブレンドしたオリジナルの植物性飼料が、白さが際立つ美味しい脂身を持つ豚肉の秘密です。豚が健康に育つよう、健康管理をしっかりと行っています。



【マルイ農協】鶏肉の美味しさを追求した精肉加工場が新設されました!

2025年2月、マルイ農協の新たな精肉加工場としてマルイ食品新野田工場が完成しました。「付加価値をつけることにこだわった工場づくり」をコンセプトに、価格競争に影響されない美味しい鶏肉の生産をめざしています。

その特長は、生産工程に新たな設備を導入することで鶏肉のドリップが出にくくう味が流出しない、全国的にもめずらしい方式を採用したこと。これまで以上に美味しくなる「マルイ元気鶏」に期待が高まります!





北海道 トップファーム
主な生産物: サロマ黒牛



牛の健康と美味しさを求め、パイナップルの皮と芯を使用した独自の発酵飼料を使用。1頭ごとにカルテを作成し健康状態を把握するなど、大切に育てています。

北海道 JAふらの JAようてい JAきたそらち

主な生産物:
YES! Clean ななつぼし
YES! Clean ゆめぴりか



JAきたそらち 坂垣部会長
低たんぱくの良質米生産をめざし、クリーンでおいしいお米を提供しています。環境に配慮した米づくりを実践し、安全・安心、環境と調和のとれた生産に取り組んでいます。



秋田県 ポークランドグループ
主な生産物: 桃豚



循環型・環境保全型農業のもと、特定の病原菌を持たない清浄豚を薬品に頼ることなく飼育しています。健やかな淡いピンクの肉色で、甘みのある脂身と臭みの無さが特長です。

三重県 大内山酪農農業協同組合

主な生産物: 生協牛乳、コープさんの生乳100%ヨーグルト



「良質な牛乳づくりは健康な牛づくりから」を合言葉に、12戸の酪農家が乳牛を飼育。資源循環型酪農にも取り組むなど、地球環境にやさしい酪農に励んでいます。



産直産地について
詳しくはコチラ



2025年度 新規産直産地のご紹介

北海道 JA帯広大正 | 主な生産物: 大正メークイン

日照量が多く水はけの良い火山灰地の土壌を活かし、農業が盛んに行われている地域です。昼夜の寒暖差が大きい大正地区で育ったメークインは、甘みをたっぷり蓄えています。



北海道 東しゃこたん漁業協同組合 | 主な生産物: 赤がれい切身

「積丹ブルー」と称される美しい海に面した漁業の町です。豊かな森の清流と南からの対馬海流が育む多様な魚介類からは大型魚が水揚げされるため、食べ応えのある厚切りの商品に仕上げられています。



※調理例



つくる時も、届けた後も。 食品の安全・安心をとことん追求します。

食品安全

いずみ市民生協は安全な食品をお届けするために食品安全プログラムを運用し、提供するすべての食品を対象に、生産から販売・その後の対応までリスクを管理しています。本ページでは、その一例をご紹介します。

組合員とのコミュニケーション・意見反映

●組合員コミュニケーションを積極的に行っています。

2025年度の実績 **3会場59人参加** (堺市・岸和田市・河内長野市)

「食の安全」をテーマに、組合員と直接対話する場を毎年設けています。生協の考えや取り組み、検査内容の紹介に加え、参加者から寄せられた疑問や意見にお答えすることで、食の安全への理解を深める機会となっています。また、参加者同士が意見を交わすなど、多角的なコミュニケーションが生まれています。



商品事故管理・予兆管理



▲商品事故ミーティングのようす

配送・陳列商品を管理



▲宅配 商品配達のようす

●2025年度コープ・ラボ検査数
年間**25,773**件の検査を実施しました。

科学的な検査・検証を通じて、安全・安心な商品づくりを支える重要な役割を担っています。

コープ・ラボについて
詳しくはコチラ



2025市民連続講座「食の安全 情報アップデート」を開催しました

「食の安全」について誤解や風評に惑わされず、適切に買い物ができるための連続講座を開催しました。講義後は見逃し配信も実施し、のべ619回の視聴回数となりました。

この市民連続講座は、消費者庁と食品安全委員会、大阪府、和歌山県、日本生協連などに協力いただき、2024年度から開催しています(年6回)。

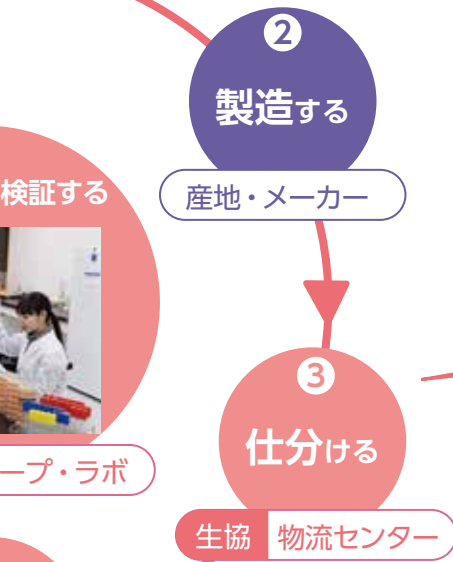


店舗の加工室の取り組みを見学



参加者からはたくさんの質問や意見も

プログラム



商品企画から製造段階を管理



▲工場点検のようす

入荷・品温・在庫の管理



▲物流センター 入荷商品点検のようす

PFASについて詳しくはコチラ

PFASの検査を開始しました

組合員の不安の声に応えます!

いずみ市民生協では2025年5月よりPFAS(有機フッ素化合物)の検査法を確立し、宅配や店舗で取り扱うミネラルウォーター類の検査を開始しました。

今後は、飲料水や生鮮食品、加工食品なども対象に含め、検査範囲を広げて対応できるよう情報収集を行い、検査方法の検討をすすめてまいります。



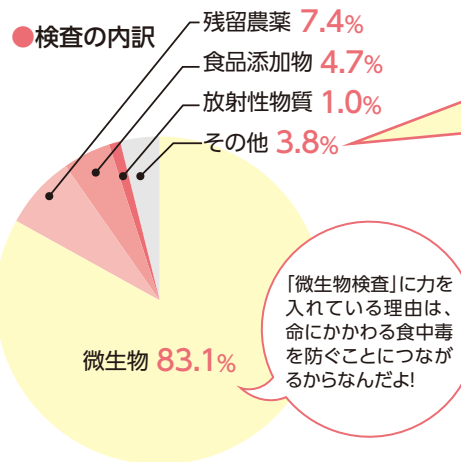
●2025年度 PFAS検査結果
ミネラルウォーター類(全27件)について、**PFOS・PFOA・PFHxSのいずれも「問題なし」**でした。

検証する

プ・ラボ

ける

配送センター



夏休みイベント『検査のお仕事体験』を、毎年開催しています。

小学生(高学年)を対象に、「微生物検査」または「残留農薬検査」のどちらかを体験していただくイベントを開催しています。

2016年より毎年開催し、2025年で通算16回の実施となりました。

※2021年はコロナ禍で中止



イベント参加者の感想

普段はできない農薬の検査をしたり、いろいろな機械のことを知ることができて、検査に興味を持つことができました。

ずっと気になっていた検査室のしくみがわかって良いイベントでした。





地球環境を守る

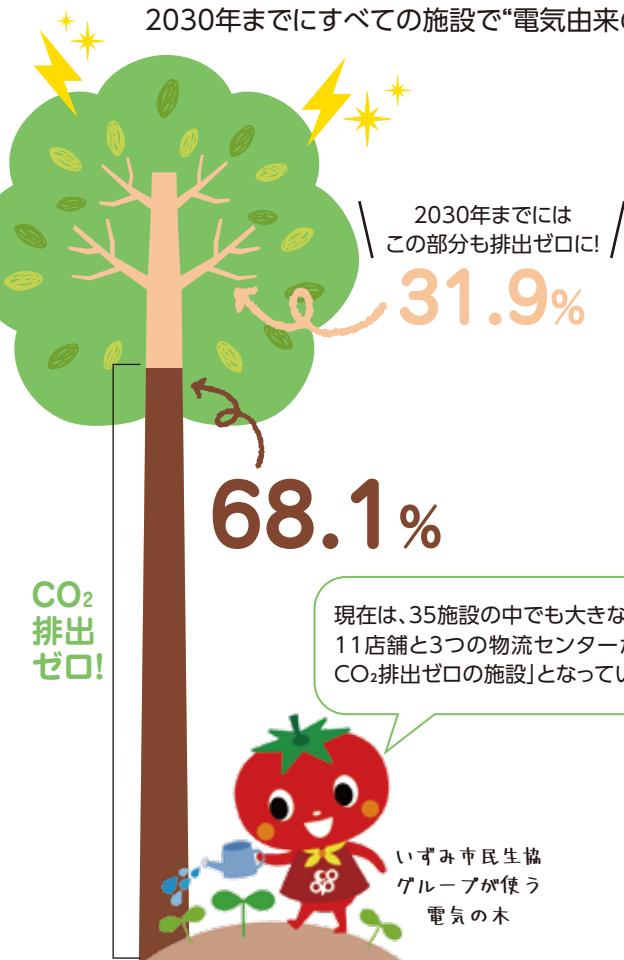
CO₂排出ゼロを、本気で。 再生可能エネルギーをくらしの当たり前に。



いずみ市民生協全体の電気使用量の68.1%を 「電気由来のCO₂排出ゼロ」に転換しました!

2025年11月、新たに**コープ富田林店**を「**電気由来のCO₂排出ゼロの施設**」に転換しました。
これによって、いずみ市民生協の35施設のうち14施設が、地球環境にやさしい施設となりました。

これからも「**再生可能エネルギーの発電・調達**」と「**非化石証書の購入**」をすすめ、
2030年までにすべての施設で“電気由来のCO₂排出ゼロ”の実現をめざします。

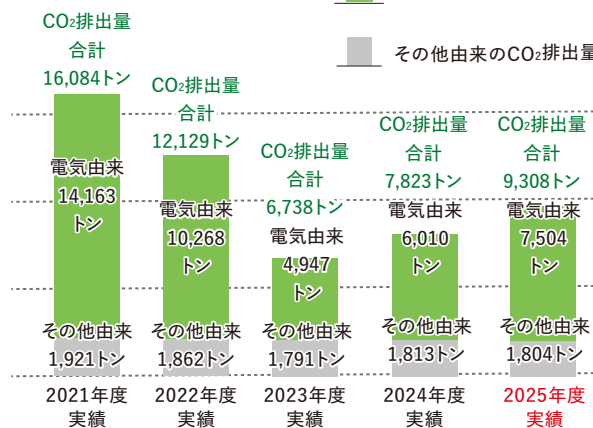


🔍 非化石証書って何?

調達した電気的环境価値を証明するものだよ。つまり、電気そのものではなく「CO₂を排出しない価値」を購入することができるんだ。これを購入することで、CO₂排出量を削減することができるんだよ。

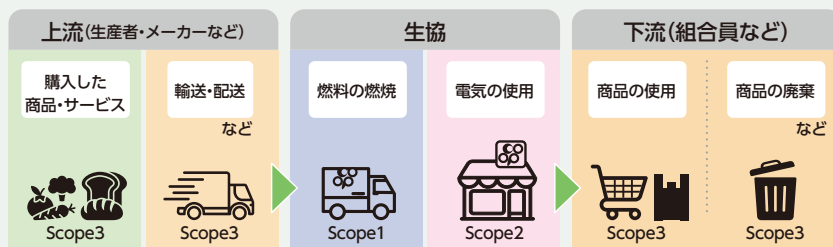
2025年度、いずみ市民生協グループでは**1,415万円 (3,207万kWh)** 購入したよ。「CO₂排出ゼロ」の実現には、必要なことなんだ!

● CO₂排出量の推移

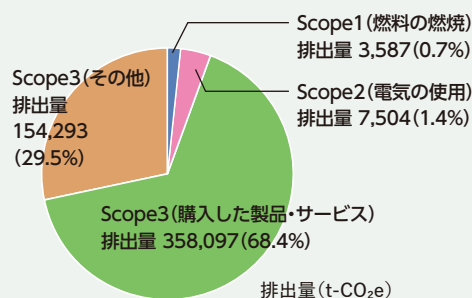


🌱 バリューチェーン全体の排出削減に取り組みます。

生協の事業・活動にかかわるすべての温室効果ガスを削減していく活動です。取引先、組合員とともに削減をすすめます。



● 2025年度 バリューチェーン排出量



自家消費型の太陽光発電所を増やしました!

2026年2月より、**コープ岸和田店**に自家消費型の**太陽光発電パネル**を設置しました。

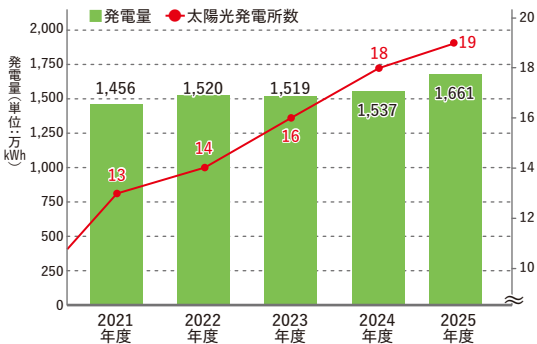
再生可能エネルギーを「創る、使う、広げる」取り組みの一環として、これからも**再生可能エネルギー発電所の開発**を積極的に行います。



いずみ市民生協は、こんなにたくさんの太陽光発電所を開発しているんだね!



● 太陽光発電量と発電所数の推移



発電所はこちらにも



🌱 脱炭素社会の実現は“世界中の問題” ~COP30ブラジルに参加しました~

COP30とは、2025年11月に開催された国連気候変動枠組条約第30回締約国会議のことです。

いずみ市民生協から代表者1名を派遣しました。

国連は、各国の温室効果ガス削減目標を5年ごとに見直し、産業革命前から世界平均気温の上昇幅を1.5度よりも低く抑えることを目標に対策を話し合っています。

気候変動の進行を少しでも遅らせるためには、化石燃料に依存する社会からの脱却が不可欠です。次世代に安心して過ごせる社会を残せるように、地球温暖化防止対策をすすめていきましょう。





3Rで、めざすは「ごみゼロ」。 循環型の事業・くらしの実現へ。



● 食品リサイクル・ループ

リサイクル・ループを通じて、食品廃棄物を削減しています。地域の生産者と一緒に、エシカルな野菜をつくっています。2025年6月からは、新たにコープ野々井店とコープ富田林店の食品リサイクル・ループの申請が認可され、すべての店舗にて「食品残さのたい肥への再生利用」が稼働しました。



「るるるんる〜ぷ」で、子ども服のリユースを進めています。

(株)ハートコープいずみでは、組合員からご提供いただいた子ども服のリユース販売を行っています。

ネット販売を中心に、不定期で店舗での販売も実施しています。

2025年は、コープ若江店やコープ城山店でも販売を行いました。

その際、お客様からは、「綺麗な服がたくさんあるのに捨てるのはもったいない、この取り組みは素晴らしいね」「すぐサイズアウトするから安く購入できてうれしい」などのお言葉をいただきました。

これからも、家計応援・環境負荷低減の取り組みとして、この活動を続けていきます。



るるるんる〜ぷ
販売サイトはコチラ



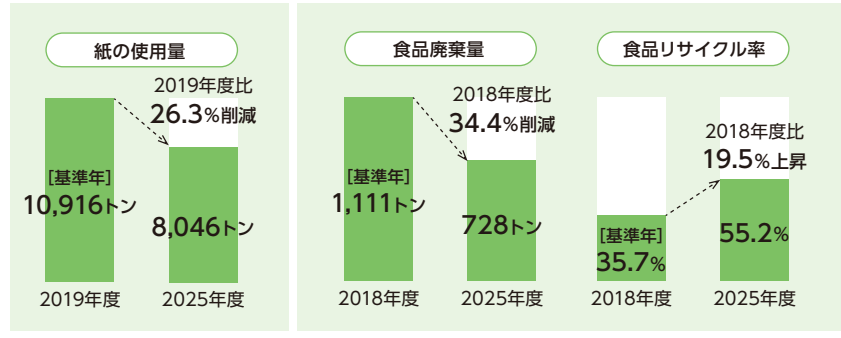
2050ゼロ・エミッションの到達点

●プラスチック容器包材の排出量削減

2025年度は、店舗の容器包材80アイテムをリサイクル原料を使用したものに切り替えました。

●宅配事業の紙の削減

●食品廃棄物の削減



私たちは「2050ゼロ・エミッション宣言」にて、2050年までに下記の排出量ゼロをめざしています。

- CO₂ 詳しくはP.21へ
- 石油由来のプラスチック容器包材
- 宅配事業における紙使用
- 食品廃棄物

●組合員協力によるリサイクル(数値は2025年度)

回収されたものは、こんなものに生まれ変わり、有効活用されています。



品名	回収率	前年差	回収量	生まれかわったら /
牛乳パック	40.9%	△1.0ポイント	118.0トン	トイレットペーパー
たまごパック	35.6%	△3.2ポイント	55.9トン	糸から衣類など
トレー			20.3トン	断熱材など
内袋	23.5%	△0.1ポイント	72.6トン	ポリ袋やゴミ袋など
カタログ	55.6%	+0.5ポイント	4,471.3トン	OA用紙など
ペットボトル	22.8%	±0.0ポイント	53.8トン	ペット容器

*写真はイメージです。実際とは異なる場合があります。

●コープ和泉中央店で、家庭用廃食油の回収を開始。

5月よりコープ和泉中央店で、家庭用廃食油の回収を実施しました。和泉市より、脱炭素およびリサイクルの推進に貢献したとして、感謝状が贈呈されました。

回収量
(2025年5月～2026年3月末)
2,527ℓ
(ペットボトル3,572本分)





買い物にお困りの声に、 寄り添います。



「コープのらくらくショッピングカー」で ご自宅とコープのお店を無料送迎しています。

事前登録制で週1回、決まった曜日・時間に利用できます。

2025年6月に新たにコープ富田林店での送迎を開始し、8店舗目となりました。



お買物支援MAP



らくらくショッピングカー実施店

- 1 コープ大野芝店
- 2 コープ深阪店
- 3 コープ城山店
- 4 コープ泉佐野店
- 5 コープ貝塚店
- 6 コープ和泉中央店
- 7 コープ野々井店
- 8 コープ富田林店 **NEW!**



お買物便 運行中の市町村

みんなの生活を
支えているよ



私は免許を返納したことをきっかけに利用を始めました。
始めてみると、「らくカーで来てるからこそ買いたい!」と思えるものが
あって、買い物がとても楽しくなりました。
帰りの体力を気にしなくていいので、お米やトイレトペーパーも買え
ますし、今までに食べたことのないものを選ぶ余裕も生まれます。
そして、らくカーを使ってよかった!と特に感じる瞬間は、なんと
いっても、お友だちが増えたことです。今まではお喋りする機会がな
かった人たちとも仲良くなって、らくカーのおかげでまさに輪が広が
りました。
今では毎週、和気あいあいとみんなが集まれるらくカーの日を、心か
ら楽しみにしています。



組合員
土橋 芳子 さん



- 公共
交通機関の
縮小
- 高齢化や
単身世帯の
増加
- スーパーや
食料品店の
撤退・閉店



大阪の
「買い物アクセス困難人口」は
全国2位¹⁾

移動販売車「コープのお買物便」は お買い物が困難な地域を毎週巡回しています。

交通手段がない、ひとりでの買い物が不安、子育て中…。
そんな状況に寄り添うため、トラックにコープのお店の商品をいっぱいにして巡回しています。
2024年10月から2025年9月にかけて、藤井寺市の停留所が14か所増えました。



この地域ではスーパーがどんどん閉店してしまって、1人では買い物に行けない方もいらっしゃいました。藤井寺市でのお買物便は我々職員の奮闘だけでなく、区長会やNPO法人の方々のお力添えや店舗の協力があって実現しています。スーパーだと帰り道に時間がかかってお刺身が買えなかった方から「お買物便のおかげで半年ぶりにお刺身、食べれるわ!」と言ってもらえたときは、とても嬉しかったです。

藤井寺市コース担当者より



コープのお買物支援について
詳しくはコチラ



重たいものを持って歩くのは大変。やっぱり近くに来てもらえると助かります。利用したいと思うのは「生協の品質への信頼感」が大きいです。お魚、エビ、豚肉などの生鮮品が新鮮!だから「豚肉は木曜のお買物便で買おう」といったふうにも決めています。特価品やイチオシの案内も毎週あって嬉しいです。

藤井寺市コースご利用のみなさまより



子どもたちを地域 みんなで守り育てる
「とまとちゃん福祉基金」の輪、広がっています。



どんな団体を支援しているの？

とまとちゃん福祉基金は、いずみ市民生協の活動エリアで子ども食堂や学習支援、子どもの居場所づくりなどを行う地域団体の活動を支援しています。2025年度は1年間でのべ9万人へ支援しました。

2025年度 支援総額

1,657万円
(前年度比 106.4%)



2025年度
支援団体数

76団体
(前年差 +11団体)



子ども食堂などに食材を寄付しています。

子ども食堂や学習支援団体、それらを支援する行政・社会福祉協議会などに食材を寄付しています。宅配事業の予備商品や未使用の商品を利用しています。



食材提供の実績

- ・宅配物流センター分 お米 **4.8トン**
お米以外 **25.2トン**
- ・宅配事業所分 **83.1トン**
- ・店舗フードドライブ分 **5.7トン**(組合員提供分)



店舗のフードドライブボックスのようす
(コープ深飯店を除く11店舗で実施)

どうして、この取り組みに力を入れているの？

子どもの相対的貧困率※



大阪府が全国平均より高い理由

- ① ひとり親世帯の割合の高さ
- ② 非正規雇用・低賃金労働が多い
- ③ 都市部特有の家賃・生活コストの高さ

さらに、どの家庭にも起こりうる、貧困のリスク

- 「見えにくい貧困」を招く出来事は、どの家庭にも起こります。
- 家族の病気やケガ
 - 自然災害
 - 介護・看護に伴う収入減 など

さらに、子ども会の解散が進むなど、地域とのつながりが弱まっている状況のため、子どもたちが孤立しやすい

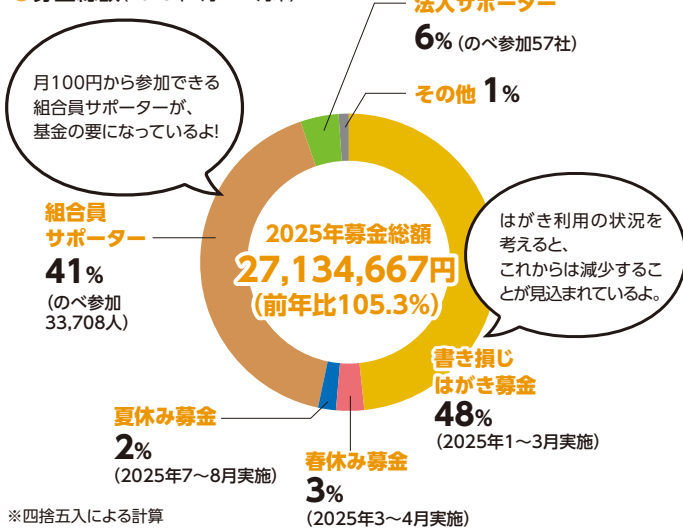
地域密着の生協だからできる
“つながりの力”を発揮！

※出典:大阪府「子どもの生活に関する実態調査(令和5年度)」,厚生労働省「国民生活基礎調査(2021年)」より

支援のお金はどうやって準備しているの？

いずみ市民生協ならではのつながりの力で募金の呼びかけを行い、組合員や取引先、地域の方々から、あたたかい気持ちとともに募金を寄せていただいています。それを子どもたちの支援につなげています。

● 募金総額(2025年1月～12月末)



※四捨五入による計算



子ども食堂WAWAWA(忠岡町)

支援金のおかげで宿題カフェや子どもの料理教室を開催することができ、開催頻度も増え、子どもたちやその保護者から喜んでいただいています。

私たちスタッフもやりがいを感じ、大変うれしく思っています。



笑わ食堂(藤井寺市)

みなさまのご支援のおかげで、子どもたちのために活動することができています。先日参加してくれた子が「あ～、お腹いっぱい! 幸せや～!!」と帰っていきました。おかわりしていいよ! と心の底から言えることがありがたいです。



「支援団体活動発表&交流会」を毎年開催しています。

2025年度は9月に開催され、とまとちゃん福祉基金の支援団体から61団体84人が参加しました。活動発表では3団体からとりくみ報告をいただき、参加者の関心に沿った実践紹介がありました。交流会では、支援団体が増加傾向にあり、今後も支援を維持していく見通しが説明されました。

「支援団体活動発表 & 交流会」を動画でチェック!



「支援団体活動発表&交流会」グループ交流のようす



孤立しがちな時代の子育てを地域とともに、応援します。



妊娠中の健康を支える

「めばえバッグ」の無償提供を始めました。

2025年9月、忠岡町と「妊娠・出産・子育て支援及び健康づくりの推進等に係る事業連携協定」を締結しました。その取り組みの一つとして、希望する妊婦さんへ、食生活をサポートするための商品を詰め合わせた「めばえバッグ」を無償でお届けしています。

妊婦の方を対象とした無償提供は、全国の生協でも初めての取り組みです。

2026年4月からは大阪府と連携し、めばえバッグの取り組みをエリア内すべての市町村で開始しています。



「めばえバッグ」の内容



忠岡町との事業連携協定締結式



全国の生協で初めての取り組みです

妊娠中から小学生までずっとずっと子育てを支えます

妊娠中

めばえバッグ

妊娠中～2才

宅配サービス料無料

体調が不安定な妊娠中や産後の忙しい時期、コープの宅配サービス料が無料!

0才

はじまるばこ

1才未満の赤ちゃんがいる応募者全員に、育児アイテムがつまったセットを無料でプレゼント

おむつ定期便

※一部地域のみ



0才～3才

子育てひろば

(市町村からの委託・補助事業)

悩み相談や交流などができる常設型の子育てひろばを、行政とともに運営しています



0才～5才

コープのえほんでスマイル・キャラバン隊

保育園、幼稚園、子育てひろばなどで、「とまとちゃん」といっしょに読み聞かせを実施

親子・あそびのひろば(いずみ市民生協独自のひろば)

未就園児の親子がのんびりすごしたりいっしょに遊んだりできる、独自のひろばを運営



ミュージアムでは食育活動を実施しています。

コープ・ラボ たべる*たいせつミュージアムでは、小学生を対象に出張授業や社会見学の対応を行っています。「お豆腐作り体験」をご利用された先生方からは、「実際に手を動かすことで、子どもたちの理解が深まった」「子どもたちの意欲を引き出すことができた」など、うれしいお声をいただいています。ご利用校は年々増えており、地域の学校に広く認知されています。

出張授業・社会見学ご利用校 **182校(11,220人)**

また、館内には自由に見学して「食」を学べる展示物などがあります。週末や春休み・夏休みなどには、親子イベント(無料)を予約制で実施しています。

ミュージアム来館者数 **41,344人**

親子イベント実施数 **45件**



「おむつ定期便」で見守りの輪が広がっています。

行政から事業を受託し、対象地域において、0歳児のいるご家庭に毎月おむつなどの子育て用品をお届けしています。富田林市では2024年1月より現在も実施しています。河内長野市では2025年10月から翌年3月まで実施しました。商品をお届けするだけでなく、育児の困りごとを気軽にご相談いただける関わりづくりをめざしています。



ご利用後のアンケートより(富田林市)

おむつを無償で届けていただけて本当にありがたかったです。毎日の育児で疲弊している中、短時間でも外の人と話すことで心が少し開放的になりました。毎月お話しするのが楽しみでした。



毎回同じ方が来てくれていたので、顔馴染みになり安心できました。子どものことを相談できると育児に息詰まっても、また頑張ろうと思えることもありました。もう来月から配達の方に会えないと思うと寂しいです。ありがとうございました。



子育て時の悩みは様々…離乳食や夜泣き、成長の相談など。日中の一人での子育てに孤独感をお持ちの方もいらっしゃいます。月1回ですが、「大人と話ができて気分転換になった」「先輩ママからのアドバイスは心強かった」など、ありがとうございます。現場のスタッフより

1才～2才

合計4冊の絵本プレゼント (コップのえほんでスマイル)

満1歳～2歳の子がいる組合員の家庭に2年間で4冊の絵本を無料でプレゼント



3才～6才(就学前)

宅配サービス料 税抜3,000円以上(/回)で無料

子どもが満3歳～就学前は、税抜3,000円以上のお買い物で宅配サービス料が無料に



小学生(6才～12才)

たべる*たいせつミュージアム
親子で自由に見学して「食」を学べる、入館料無料の体験型施設(予約不要)

ミュージアム親子イベント
食をテーマに、楽しくとくむ無料ワークショップを開催(要予約)

たべる*たいせつキッズクラブ
年4回、食育を楽しく学べる教材を郵送。1年間の登録制(有料)

子育て応援サービス全般について詳しくはこちら



なにわフードバンクの活動を開始しました。

(公社)なにわフードバンク「しっかり食べや」の運営に参加し、ボランティア募集やフードドライブ活動を行いました。9月からはエリア内の子ども食堂などへの配給登録の受付を開始し、11～12月には「なにわフードバンク支援募金」に取り組みました。募金には合計483,900円が寄せられました。また、食材運搬用の中古トラック1台を寄贈しました。



「なにわフードバンク “しっかり食べや”」について詳しくはこちら



えほんでスマイル ご利用者のお声

自分で絵本を選ぶとどうしても偏ってしまうので、様々な絵本を、しかも無料で届けていただいて、非常にありがたいです。今回届いた「キャベツくん」は何度か読み聞かせたあと、子どもたちだけでも楽しそうに読んでいました。クジラのページがお気に入りのお声です。



組合員 さくさんのお子さん



地域・行政と連携し、 さまざまな地域課題の解決に取り組んでいます。

いずみ市民生協グループは、市町村や地域の諸団体と連携し、まちづくりの一翼を担っています。
このページでは、2025年度の新たな連携の取り組みや出来事をピックアップしました。
今後も、生協ならではの“つながりの力”を大切に、取り組みをすすめていきます。

コープフェスタ in泉南ロングパーク2025 の開催

お取引先、行政、地域諸団体のご協力により、79ブースの出店と8,600人を超える来場がありました。
商品の販売ブースやコープのトラック乗車体験、行政の展示・体験ブースなど、さまざまな企画で地域のみなさまとつながりました。



和泉市地域助け合い AEDステーションへの登録

コープ和泉中央店やコープ・ラボ たべる*たいせつミュージアムなど6施設を登録し、緊急時のAED使用体制に協力しました。



めばえバッグ



詳しくはP.29へ

おおさか クールオアシスプロジェクト への登録

猛暑から命を守るとともに健康被害の軽減を図るため、コープのお店(イートインコーナーのある10店舗)や、まちのリビング(八尾市・大阪狭山市)の計12施設を登録し、暑さをしのげる涼しい空間(クールオアシス)を提供しました。



連携している行政機関



アプリで参加するSDGs活動「エス活」が広がっています。

「エス活」とは?

いずみ市民生協のアプリで参加することができるSDGsに関連した取り組みを、略して「エス活」と呼んでいます。SDGs活動の報告などに応じてアプリ内コインが溜まる仕組みで、集めたコインは1コイン1円換算でさまざまな団体に寄付することができます。



タップして
活動・報告に参加



コインが溜まる



寄付する

寄付先

※2026年4月現在

大阪府女性基金・大阪府みどりの基金・大阪ハートフル基金(障がい者雇用促進基金)・ふーどばんく OSAKA・大阪ユニセフ協会・日本赤十字社大阪府支部・WFP国連世界食糧計画(国連WFP)・なにわフードバンク“しっかり食べや”

日本赤十字社 大阪府支部への支援

災害救護訓練、ボランティア育成、救援物資備蓄など
に対応するための活動資金として寄付しました。

寄付
総額 **1,000,000円**

「ユニセフ ミャンマー地震 緊急募金」への支援

マグニチュード 7.7 の地震により、200万人を超える
子どもたちの支援が必要に。4月から緊急募金に取り
組み7,000人以上の組合員が参加しました。

募金
総額 **6,614,900円**

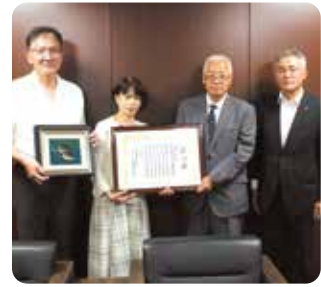
「被害者が描いた原爆の絵を 街角に返す会」の 11号碑建設への協力



能登半島地震・ 豪雨災害支援の取り組み

2025年も引き続き組合員や職員によるボランティア活
動や募金による支援を行いました。なお、2025年7月11
日、JAのとより、「令和6年能登半島地震災害支援募金^{※1}」
と「豪雨緊急支援募金^{※2}」に対する感謝状をいただきま
した。贈呈に際し、「組合員のみならずから寄せられた募
金は農業の再建に活用させていただきます」とのお言葉
をいただいています。いずみ市民生協は、引き続き、能登
半島の産地および被災者の支援を進めていきます。

※1…700万円をお届け(2024年5月)
※2…400万円をお届け(2025年4月)



▲感謝状贈呈の様子

福島県視察研修を実施

2025年9月2日・3日の二日間、東日本大震災を風化させず次代に継承していくための研修に、い
ずみ市民生協グループおよびわかやま市民生協より20名が参加しました。福島第一原発、特定廃棄
物処理施設「リプルンふくしま」、震災遺構「請戸小学校」などを視察し、地震・津波・原発事故による
被害の実相や復興の状況、課題等を学びました。

参加者の感想(一部抜粋)

14年経った今も建物
内にがれきが残ってお
り、原発の廃炉は困難
を極めると感じました。

災害発生時の判断1つで、多くの
人を救うことができる一方、誤っ
た判断によって多くの命を奪う可
能性もあると気がさせられました。



▲「リプルンふくしま」にて

おむつ定期便



詳しくはP.30へ

「大阪府高圧ガス関係 保安功労者等知事表彰」 を受賞

株式会社コンシェルジュの豊川秀幸課長
が、大阪府知事より表彰を受けました。
高圧ガスの保安活動を通じて災害防止
や公共の安全確保に顕著な功績を挙げ
たとして、豊川課長の活動が高く評価さ
れました。



▲「令和7年度大阪府高圧ガス保安大会」表彰式にて

コープ岸和田店での 人命救助対応

2025年8月、コープ岸和田店にて男性が倒れ、心肺停止
となりました。居合わせたお客さまと職員が咄嗟に
連携し、心肺蘇生、救急車への通報、AEDの使用により
救急隊への引き継ぎまで対応しました。男性はその後
一命をとりとめています。コープ岸和田店は、岸和田市
消防本部AED利活用プロジェクト事業に登録して
おり、本件においてはAEDによる適切な処置が男性の
回復に寄与したと考えられます。これらの一連の人命
救助に対し、岸和田市消防長より表彰を受けました。



▲表彰を受けたコープ岸和田店の前川さん

「中環をきれいにする日」 に参加

大阪府が実施している大阪中央環状線の一斉
清掃・美化啓発活動に参加し、飲料の提供と清
掃活動を行いました。
いずみ市民生協
からはとまとちゃんも参加し、その
場を活気づけま
した。



▲久宝寺緑地にて

「エス活」の寄付に対して、大阪府知事より感謝状をいただきました。

左記の「エス活」による「みどりの基金」への寄付と「男女共同参
画推進事業」への寄付に対して、大阪府より感謝状をいただき
ました。

2025年度「エス活」参加者数
43,707人

寄付金額
1,673,390円

※すべての寄付先の合算





平和な未来のため、 「一人ひとりができること」を広げ続けます。



特集 戦後80年

組合員参加による
平和への取り組みを
すすめました。



「わたしたちの平和アピール」を確認

平和とより良い世界の実現を掲げる生協として、「わたしたちの平和アピール」を2025年6月の総代会にて確認しました。

大切な“何気ない日常”を、今こそ守らなければならない。日本中に、世界中に、広げていかなければならない。

そんな想いを込めて、いずみ市民生協はこれからも取り組みを続けます。

わたしたちの平和アピール

あたりまえのように迎える朝
あたたかいごはんを食べる
季節の花や自然を楽しむ
誰かと一緒に笑いあい そして 安心して眠りにつく
そんな何気ない日常が、かけがえのない平和そのものです。

けれど、その日常はどこにでもあるものではありません。
絶えることのない争い。大切な人を失い悲しむ人々。未来を奪われる子どもたち。
その現実を知るたび、心が痛みます。

わたしたち一人ひとりが、平和のためにできることは何でしょうか。

わたしたちは、「私の戦争体験」を4・6回にわたり発行してきました。ヒロシマ・ナガサキを訪ね、被爆の実情を目の当たりにし、被爆者の悲痛な叫びを受け止めてきました。高校生特派員がオキナワを訪れ、民間人を巻き込んだ悲惨な現実を学び、新聞にしています。

被爆・戦後80年の歳月がながれ、戦争の体験談を直接聞けなくなる日が近づきつつあります。わたしたちは、被爆者や戦争体験者の記憶と平和への願いを受け継ぎ、次の世代へと伝え続けていきます。

平和は、みんなでつくるものだから。

わたしたちは、平和のために学び、つながり、行動します。
一人ひとりが考え、みんなで話し合い、お互いを認め合います。
たとえ意見が異なっても、対話や交流を続けることを大切にします。

今、一人ひとりの小さな行動が未来を変える。

みんなで平和の種をまこう。

夢や希望を語り合える平和な未来に向かって、共に歩いていきましょう。

2025年6月17日

大阪いずみ市民生活協同組合 第51回通常総代会



「くじらのような大きな船の音楽会」を開催しました。

12月、第五福竜丸平和協会と協力し、音楽と朗読劇を通じて平和への願いを発信しました。ピアノとチェロの心に響く演奏とともに、水爆実験により被ばくしたマグロ漁船「第五福竜丸」に思いを寄せました。

朗読劇では、マグロ漁船の漁師・大石又七さんの証言をベースに、クジラやイルカの親子の姿を描いた物語を上演しました。2日間で322人が参加し、組合員のみなさんと「平和」の意味をあらためて考える機会となりました。



▲音楽会に登場した「第五福竜丸」の模型船は大石又七さんから贈られたもので、普段はいずみ市民生協堺東本部に展示されています。



店舗にて「平和メッセージ付き折り鶴」を募集



コープのお店では「平和」「未来への希望」「子どもたちの明日」を願い、メッセージ付きの折り鶴を募集しました。集まった29,850羽は10月、店舗の従業員によって広島へ届けられました。



▲集まった折り鶴



▲広島市の平和記念公園

たべる*たいせつミュージアムにて「平和メッセージボード」を作成

来館者のみなさまに平和へのメッセージを寄せていただきました。5月～8月末に実施し、大きなメッセージボードは合計4枚に。世代を超えた、さまざまな平和への想いやイラストが集まりました。



音で聴ける「私の戦争体験」を制作しました。

平和の大切さを多くの方へ語り継ぐことができるよう、体験談をプロのナレーターが読み上げ、イメージイラストとBGMを加えた音声動画版を制作しました。

過去にご寄稿いただいた体験談の中から選定し、12編を公開中です。



貴重なお声を集めた「私の戦争体験」は、さまざまな場所へ広がっています。

➤ 依頼を受け、東京の国立資料館「昭和館」や堺市立図書館(7か所)に寄贈。これにより、組合員の体験記を広く・長く保管いただけることとなりました。

➤ 2025年8月7日の読売新聞で「私の戦争体験」が紹介され、ご寄稿いただいた方への取材の様子などが掲載されました。



1人ひとりの輝きが、 地域の明日をつくる。

人が育つ組織は、地域を変えられる。 未来への投資は、いつも「人」からはじまる。

私たちが持続的に成長し、地域課題の解決を担う組織であり続けるために最も重要な経営資本は、人材です。そのためいずみ市民生協では、職員・社員一人ひとりの成長機会の創出、挑戦を支える仕組みづくり、そして安心して働き続けられる環境整備に継続的に取り組んでいます。



1 人的資本への考え方

成長し続ける組織をつくる。

地域により近く、より長く寄り添うためには、サービスや仕組みだけでなく、それを支える職員一人ひとりの主体性、共感性が欠かせません。

私たちは、人を単なるコストとしてではなく、組織の持続的な成長と発展を支える「人的資本」として位置づけています。

職員一人ひとりが持つ知識・経験・スキルこそが、生協の未来を切り拓くかけがえのない資本であると考えています。だからこそ、単に人を採用するのではなく、入協後に安心してスタートできる環境づくり、若いうちから挑戦できる機会の提供、長期的に成長し続けられる人材育成を重視しています。

2 教育投資

成長したい気持ちを、 仕組みで支える。

2025年度は、**22企画・648名**が各種**研修**に参加しました。

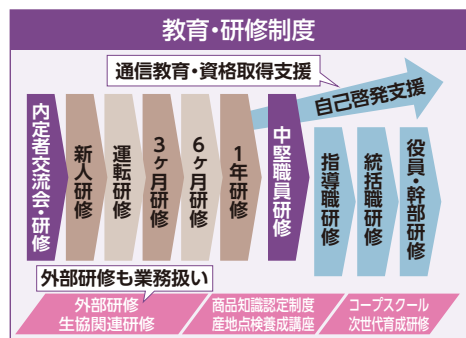
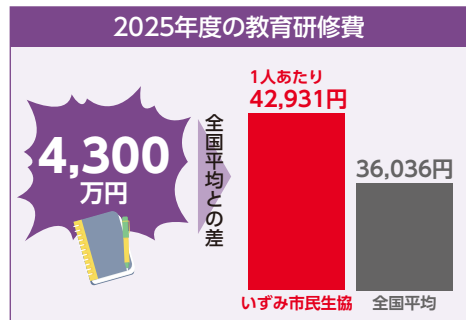
教育研修費は**約4,300万円**、一人あたり**42,931円**を投資しています。

これは、2025年産労総合研究所調査による全国平均の36,036円を上回る水準です。

この投資は、知識やスキルの習得だけを目的としたものではありません。

一人ひとりが自ら考え、行動し、

地域や組織の課題解決に挑戦できる人材へ成長することをめざしています。



安心して働き続けられる、職場環境づくりにも取り組んでいます。

いい仕事は、いい暮らしの上に成り立つ。

私たちは、成長機会の提供だけでなく、安心して働き続けられる環境整備も重要な人的資本投資と考えています。

たとえば、性別や立場にかかわらず育児と仕事を両立できること。

社会保険制度に加えて、福利厚生や休業補償など独自の資金援助制度を整備しています。

●育児休業の取得者数／取得率(いずみ市民生協)

	対象者数	取得者数	取得率
男性	11	9	81.8%
女性	15	15	100.0%
合計	26	24	92.3%

●くるみん認定



●えるぼし認定(最上位の3つ星)



*認定はいずれも
いずみ市民生協

3 若手育成

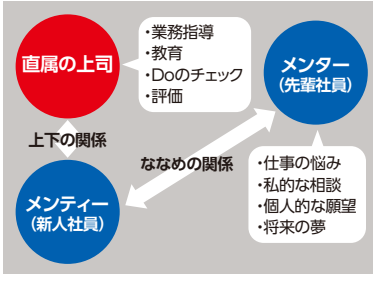
「最初の不安」を、「最初の自信」に変える。

社会人生活のスタートには、不安がつきものです。いずみ市民生協では、若い世代の職員が安心して歩み始め、その後の挑戦につなげられるよう、複数の育成施策を実施しています。



●メンター制度

新卒職員に先輩職員(メンター)が1年間伴走し、成長を促す制度です。2024年度に導入し、5~15年目の先輩職員35人が立候補しました。仕事上の助言だけでなく、「やりがい」や生協で働く魅力といった価値観も共有することで、不安を軽減しています。開始3年目の現在は、メンター自身も行動指針を再認識し、組織のエンゲージメント向上につながる好循環が生まれています。



●コープスクール

若手職員の自律的成長を支援するコープスクールを実施しています。プログラムでは管理会計やロジカルシンキングを学び、OJT(実務を通じた育成)と並行して実践力を高めます。グループで改善提案をまとめ、経営層へ発表する機会も設けています。こうした経験が、将来の組織を支える人材育成につながっています。



4 定着とエンゲージメント

「ここで働きたい」が、数字にも表れている。

直近3年間の**新卒退職率は6.3%**にとどまり、厚生労働省調査による**大学卒3年以内退職率33.8%**と比較しても、高い定着率を維持しています。

5 2030年に向けて

若手が育つ組織は、未来に強い。

私たちは、2030年に向けて人的資本に関する明確な目標(右図)を掲げています。これらの目標には、若い世代が成長し、挑戦し、組織運営の中核を担っていく未来を着実に実現していく意思を込めています。

いずみ市民生協は2030年に向けて**人的資本**に関する**明確な目標**を掲げています!

働きがいUP!

職員意識調査における**帰属意識(働きがい)**
4.00 (2025年度3.57) ※5点満点

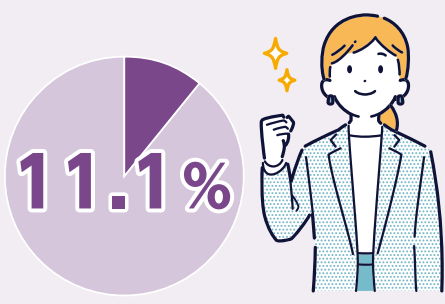
管理職以上の**平均年齢**
45歳 (2025年度50歳)

50歳未満の**管理者**
40名 (2025年度22名)

地域の未来を支えるのは、今日、挑戦する1人ひとりだ。

私たちは、地域の暮らしを支える組織であると同時に、働く一人ひとりの成長を支える組織でありたいと考えています。いずみ市民生協グループの2030年ビジョンである、「もっとちかくに、ずっとそばに」。その言葉を地域に対してだけでなく、職員・社員に対しても実現していくこと。それが、私たちの人的資本経営の考え方です。

●女性管理職比率 (いずみ市民生協グループ)



●男女間賃金格差 (いずみ市民生協)

区分	男女の賃金差異 (男性の賃金に対する女性の賃金の割合)
全労働者	56.6%
正規職員	68.2%
パート・有期職員	86.2%

- ・正規職員：出向者を除く
- ・パート・有期職員：パート・アルバイトが該当
- ・賃金：通勤手当等を除く

- ・全労働者のうち女性定時職員が約4割を占めます。
- ・基幹事業である宅配の事業特性から、過去に男性の採用に重点を置いてきました。
- ・勤続年数が長い職員は男性が多く、所得も高くなっています。

社会的責任懇談会を開催しました。

いずみ市民生協では「社会的責任をいかに果たすべきか」のご意見を外部有識者の方を中心に頂戴し、事業や活動へ反映できるようにすすめています。

2025年度は「事業・活動のまとめ」や「サステナビリティの到達点と課題」などについて報告し、意見交換を行いました。

●2025年度 社会的責任懇談会メンバー（順不同、敬称略）

杉本 貴志	関西大学教授
加藤 祥子	サステナ・デア・ジャパン・オフィス代表
赤羽 真紀子	CSRアジア日本代表
平川 秀幸	大阪大学教授 いずみ市民生協 理事
椿原 雅子	いずみ市民生協 副理事長
花田 尚実	いずみ市民生協 副理事長
嶋吉 麻実子	いずみ市民生協 理事
松野 真希	いずみ市民生協 理事



情報開示について

●加藤祥子氏

サステナビリティ情報開示の社会的要請が高まっています。いずみ市民生協に法的義務はありませんが、社会の「見方」が変わる中、どこまで開示するのかを戦略的に検討することが重要だと考えます。募金などの取り組みも、**金額だけでなく社会的成果や波及効果も伝えるはどうでしょうか。**

●久保専務理事

どこまで開示するかは、社会動向と自組織の身の丈に合わせて議論を進めているところです。

数字だけでなく、**組合員の体験や参加のようす、それによる地域の変化など**も積極的に発信していきます。

●加藤祥子氏

さらには、方針や目的、その背景にある考え方をストーリーとして示すことで、組合員の共感や参加につながります。**「何のために取り組んでいるのか」のメッセージ**が生協ファンを広げる“戦略”になると感じました。

●久保専務理事

重要なのは方針であり、募金などはその取り組みの一つ。何のための取り組みなのかを分かりやすく伝える工夫が必要とのご意見、受け止めさせていただきます。

生物多様性について

●平川秀幸氏

生物多様性条約の流れを見ると、農業の在り方が重要なテーマであり、エシカル消費とも深く関係します。

農業を通じて生物多様性を高める取り組みについて、国内外の事例を参考にできるのではないのでしょうか。

●久保専務理事

農業と生物多様性の関係は重要な視点であり、今後の検討材料とさせていただきます。

宅配事業における商品・サービスの多様化について

デジタルとアナログの融合

●杉本貴志氏

過去に廃止した「担当者ニュース」ですが、**アナログの良さ**も見直されており、全国的に評価が高くなっています。生協の特徴として評価され、組合員への訴求だけでなく就職先としての魅力にもつながっています。

そこで、単なる復活ではなく、**いずみ市民生協らしい新たな形**での活用を検討できないでしょうか。

●久保専務理事

過去に一度廃止した経緯がありますので、以前と同じ形での復活は難しいと考えております。

しかし、他の生協がどのような取り組みをしているか、引き続き情報を集めて参考にしていきます。

今後は、**アプリのようなデジタルな手段と、これまで生協が大切にしてきたアナログの良さを組み合わせる**ことで、今の時代に合った組合員との接点づくりを検討していきます。

商品展開のバランス

●赤羽真紀子氏

高価格でも内容が良ければ買う消費者は増えています。多様なニーズを汲み取り、**より高品質な商品展開**も意識されたら良いのではないかと思います。

また、平和やエシカルにつながる商品（例えばウクライナ産蜂蜜やガザ産オリーブオイル）の展開も十分魅力になります。こうした話題は消費者に深く刺さりますし、**平和やエシカルについて考えるきっかけ**にもなります。

●久保専務理事

アンケート結果では「生協は価格が高い」というイメージが想像以上に高い結果でした。もちろん、私たちはディスカウント店のように常に安売りを追求するわけではありませんが、人気のあるNB商品については価格を見直す努力もしていきます。

それと同時に、生協ならではの**高品質な商品や、平和・エシカル**につながる商品の品揃えもさらに充実させたいと考えています。

今後の課題は、この**「価格への対応」と「生協らしい商品の充実」**という二つのバランスをどう取るかだと認識しています。

ふりかえりクイズ



サステナビリティレポートを最後まで読んでくれて、ありがとう!

2025年度、いずみ市民生協グループはどんなサステナブルな活動をしていたかな?

クイズで振り返ってみよう♪

Q.1

エシカルな商品である“コープさんシリーズ”から、2025年8月に新しくデビューしたのは「コープさんの寒さわら旨み醤油糍漬」と、あともう1つ、なんだった?

解答欄:

ヒント

「事業を通じたお役立ち」
13～14ページ

Q.2

コープ・ラボが1年間で実施する検査数の8割以上を占めている、食中毒を防ぐために必要な検査の名前は?

解答欄:

ヒント

「事業を通じたお役立ち」
19～20ページ

Q.3

2025年11月に新しく「電気由来のCO₂排出ゼロの施設」となったのは、コープのどの店舗?

解答欄:

ヒント

「地球環境を守る」
21～22ページ

Q.4

2025年5月から店頭に専用の回収BOXを設けて「食用廃油の回収」をスタートしたのは、コープのどの店舗?

解答欄:

ヒント

「地球環境を守る」
23～24ページ

Q.5

全国の生協で初めての取り組みとなった、妊婦さんの健康づくりを応援するための商品や情報を無料でお届けする取り組みの名前は、なんだった?

解答欄:

ヒント

「まちづくりへの参加」
29～30ページ

Q.6

コープのお店で募集した、「平和のメッセージを書いた折り鶴」。広島に届けられた折り鶴は、全部で何羽?

解答欄:

ヒント

「人権・平和」
33～34ページ

Q.7

表紙の絵にいずみ市民生協の事業や活動が隠れているよ。何個見つけられるかな?

解答欄:

答えはすべて、このレポートの中にあるよ♪わからないところがあったらもう一度レポートを読んで、全問正解をめざそう!



組織の概要

大阪いずみ市民生活協同組合

所在地	〒590-0075 大阪府堺市堺区南花田口町2-2-15
活動エリア	大阪府下25市町村(大阪市を除く東大阪市以南)
代表者(代表理事)	理事長 勝山 暢夫 専務理事 久保 幸雄
創立	1974年11月5日
出資金総額	168.8億円
組合員数	575,028人
職員・社員数	いずみ市民生協単体:978人 いずみ市民生協グループ全体:4,093人
グループ会社	(株)コープ大阪サービスセンター (株)コンシェルジュ (株)ハートコープいずみ (株)いずみエコロジーファーム
総事業高	1,065.8億円

※数値は2026年3月末現在

サステナビリティレポート 2026

発行日：2026年6月16日

発行：大阪いずみ市民生活協同組合 総合マネジメント室
〒590-0075 大阪府堺市堺区南花田口町2-2-15

